

都市消防委員会  
説明資料  
(追加分)

令和8年3月17日

防災危機管理局

# 1 新たな港防災センターの施設構成及び五大都市の比較について

## (1) 施設構成

区分	主な内容	延床面積
展示	・災害シミュレーションエリア ・備えの展示学習エリア ・訓練研修等エリア	2,120 m <sup>2</sup>
諸室	・事務諸室 ・共用部	2,880
計		5,000

## (2) 五大都市の比較

### ア 施設規模

区分	施設名	延床面積
名古屋市	名古屋市港防災センター	5,000 m <sup>2</sup>
京都市	京都市市民防災センター	3,551
横浜市	横浜市民防災センター	3,406
大阪市	大阪市立阿倍野防災センター	2,304

(注) 神戸市の施設は、常時公開していないため除く。

### イ 主な機能

区分	災害伝承	地震体験	風水害体験	避難所体験	屋外広場	指定避難所
名古屋市	○ 伊勢湾台風	○	○	○	○	○
京都市	—	○	△ 強風のみ	—	—	—
横浜市	—	○	△ 冠水のみ	—	—	—
大阪市	—	○	—	—	—	—

(注) 1 神戸市の施設は、常時公開していないため除く。

2 「○」は機能あり、「△」は一部機能あり、「—」は機能なし